



ごあいさつ

理事長 赤川新一

皆さまには、平素より新潟県信用組合（略称：けんしん）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

皆さまから当組合に対するご理解を一層深めていただきますよう、ディスクロージャー誌「けんしんの現況2024」を作成いたしました。経営方針や最近の財務状況、業績などをできるだけわかりやすくご説明させていただくことを心がけましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

令和5年度の県内経済は、新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類に移行したことで経済活動が活発化し、企業の業績は概ね堅調に推移しました。年間を通じて設備投資が拡大したことも景気の下支えとなりました。一方で、人手不足や円安に加え、長引く物価高や原材料高の影響を受けて多くの中小零細企業は厳しい経営環境に直面しました。また、夏場の記録的高温によってコメの品質低下が発生したほか、冬場は異常少雪の影響でスキー場をはじめとする観光業が打撃を受けるなど、天候不順に苛まれた一年となりました。さらに、元日に発生した令和6年能登半島地震では、県内でも地面の隆起や家屋の損壊など多くの方々が被災され、加えて物流停滞による品不足や宿泊・飲食のキャンセルが相次ぐなど間接的な被害も広がり、県内経済に大きな影響を及ぼしました。

このような環境の下、令和5年度は、「第19次中期経営計画（令和4年度～6年度）“地域との伴走・共生”～顧客との信頼関係の再構築・強化を目指して～」の2年度目であり、経営課題として「人的資源の活性化」「地域力の発揮」「組織体制の確立」「収益力の向上」「健全性の強化」の5項目を掲げ、計画の達成に向けて各種施策に取り組んでまいりました。特に、「人的資源の活性化」に向けた取り組みでは、職員の特性を最大限に活かすことができる職場づくりやスキル・能力の向上を図るための人材教育の充実に取り組み、組織全体の業務の質的な向上を図ることにより、お客さまの多様なニーズに柔軟に対応し、地域で活躍できる「自立型人材」の育成に注力いたしました。

令和6年度は、第19次中期経営計画（令和4年度～6年度）の最終年度となります。計画の集大成として、経営課題に掲げた「人的資源の活性化」「地域力の発揮」「組織体制の確立」「収益力の向上」「健全性の強化」の5項目の達成に向けて取り組んでまいります。地域経済を取り巻く環境は、人手不足や円安に加え、長引く物価高や原材料高の影響を受けて依然として厳しい状況にあります。当組合では、事業者の実情に応じた経営改善・事業再生支援に重点を置き、一步先を見据えた早めの対応促進とコンサルティング機能の強化を図り、地域経済の発展に向けて全力で取り組んでまいります。

地元を見つめ、地元とともに74年の歴史を刻んだ当組合が、今後もさらに皆さまから親しまれ信頼される金融機関としてお役に立てますよう、役職員一同全力をあげて邁進する所存でございます。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和6年7月

- 本誌は、「協同組合による金融事業に関する法律」第6条において準用する「銀行法」第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。
- 本資料に掲載してある金額は、原則として単位未満を切り捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中の合計欄が一致しない場合があります。
- 本資料に掲載してある諸利回り・諸比率は、原則として小数点第3位以下を切り捨てて、第2位までを表示しております。
- 端数処理の関係から、掲載している構成比の合計が100%とならない場合があります。